

2025年度 すくわくプログラム

ポピンズナーサリースクール馬込【2・3月集大成】活動報告書

【活動テーマ/テーマ設定背景】

- **テーマ**：多文化について理解を深め、興味関心を広げると共に、様々な国に触れる中で視野を広げていく
- **設定背景**：園の給食で提供される多文化料理に興味を持ち、この料理はどこ国のものなのか、どんな国なのか、保育者に質問する姿が見られた。そこから、他国への関心が広がっている様子が見られたため、本テーマを設定した。子どもたちの興味から、様々な国の文化や生活に触れることで、多文化への理解を深め、自ら調べたり考えたりする力につなげていきたいと考えた。

【活動のために準備した素材や道具、環境の設定】

- ・ワールドツアー後にはドキュメンテーションを作成し、子どもたちがいつでも振り返ることができるようにした。
- ・世界地図や地球儀、国旗積み木、世界図鑑などをいつでも手に取れる環境設定を行い、子どもたちが興味を持った時にすぐに調べられるようにした。
- ・サークルタイムでは国旗積み木を用い、気になる国について話し合う時間を設けた。
- ・多文化理解を進める中で音楽への興味も広がっていたため、ギロや木琴、マラカス、カホンなどの楽器を用意し、実際に触れて音を楽しめる環境を整えた。

【活動内容】

- ・本活動の集大成として、生活発表会での演奏活動に取り組んだ。生活発表会で何を行いたい子どもたちに尋ねたところ、これまでの経験から「えんそうやりたい」という声があがった。
- ・ギロやカホンなど、各国の楽器に触れる機会を設け、自由に音を出しながら音の違いや特徴を楽しめるようにした。その中で、自分が演奏したい楽器を選び、国とのつながりを意識しながら活動を進めた。
- ・初めは簡単な曲に挑戦し、楽器ごとの音の違いを感じながらも、友だちと音を合わせる楽しさを味わっていた。
- ・みんなで話し合いながら発表会で演奏する曲を決め、「小さな世界」を演奏することとなった。練習を重ねる中で音の違いを感じつつも、一緒に合わせようとする姿が見られた。
- ・本番では、これまでの練習の成果を発揮し、友だちと協力しながら演奏することができ、達成感や充実感を味わう姿が見られた。

【お子さまの声や姿や保育者との関わり】

- ・ワールドツアーを通して様々な国の文化に触れる中で、日本との違いや共通点に気付いていた。
- ・活動後には図鑑を手に取り、自ら調べたり、日本からどれくらい遠いか、距離に関するクイズを出したりするなど、学んだことを他の活動と結びつけていた。
- ・音楽に興味を持つようになり、楽器に触れながら自由に音を鳴らすことを楽しんでいた。「きらきらぼし、ひいてみよう」という一人の声をきっかけに、友だちと一緒に音を合わせようとする姿が見られた。
- ・生活発表会に向けた話し合いでは、「えんそうやりたい」という声があがり、すくわくプロジェクトの集大成として、世界の楽器を使った演奏に取り組むこととなった。異なる国の文化に触れながらも、音楽を通してつながりを感じる経験へとつながった。



【振り返りをふまえた気づき】

- ・子どもたちの興味をきっかけに活動を展開することで、多文化への関心が大きく広がり、自ら調べたり友だちと共有したりする主体的な姿が多く見られた。
- ・ワールドツアー後のドキュメンテーションや環境設定により、学びが深まっていく様子が見られた。
- ・音楽という共通の要素を取り入れたことで、文化の違いだけでなく、「つながり」にも気付くことができた。
- ・今後も、子ども自身が疑問を持ち、調べ、発信していく機会を増やし、探究活動へとつなげていきたい。